

学校関係者評価

令和4年度第3回学校評議員において、各分掌の取り組み状況、学校評価(自己評価)の報告を行った後、学校評議員による学校関係者評価を実施した。

1 実施日 令和5年3月16日(木) 16時～17時

2 場所 沖縄県立浦添商業高等学校 課題研究室1

3 評議員 本原 泉(学識経験者 本校元校長)
髭白 晃宜(学識経験者 沖縄国際大学産業情報学部企業システム学科 准教授)
平良 朝雄(地域代表 浦添市緑が丘自治会長)
與儀 聡(地域代表 与儀ミート)
比嘉 和泉(保護者代表 本校元PTA会長)

4 評価内容

(1)転学者の増加について

コロナ禍で学校行事が大幅にカットされており、行事を通して生徒の活躍の場が減ったことでクラス作りも難しくなっていると聞いている。学校行事を積極的に実施することで、転学者の減少につなげて欲しい。

(2)保護者の学校評価アンケートの回答率について

保護者の回答率が19.7%となっており、今回のアンケートの回答が保護者の意見と受け止めるには疑問が残る。保護者の回答が増えるとC評価になる項目も増えるのではないかと考える。次年度以降、学校行事が増え保護者が学校に関わる機会が増えることを期待する。

(3)進学率に向上について

- ・大学進学に向けて全国商業高等学校協会主催の検定で3、2級取得だけでは厳しい。上級の検定試験の受検率を向上させることに力を入れた方がよい。
- ・企業との連携による商品開発の取り組みは生徒の充実感があると思う。今後も企業との協力を積極的に取り組んで欲しい

(4)学校課題について

学校評議員会は学校の教育活動について聞くことができる有意義な機会となった。転学者の多い状況、学校内での問題行動などの解決に向けて役立つことがあれば評議員に声をかけて欲しい。